

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b>	一般国道323号富士バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	佐賀県
<b>起終点</b>	自：佐賀県佐賀郡富士町古湯 至：佐賀県佐賀郡富士町中原	<b>延長</b>	9.5 km		
<b>事業概要</b>					
一般国道323号は佐賀市から唐津市に至る延長39kmの主要な幹線道路であるほか、第1次緊急輸送道路にも指定されており防災対策上も重要な路線である。富士バイパスは、嘉瀬川ダム建設に伴い水没する現道を付け替えるもので、古湯温泉地区から同町中原地区に至る延長9.6kmの2車線道路である。					
H7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H8年度工事着手		
全体事業費	約277億円	事業進捗率	74.0%	供用済延長	0.0km
計画交通量	7,400台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 91/296 億円 事業費：72/277億円 維持管理費：19/19 億円		総便益 (残事業/事業全体) 598/598 億円 走行時間短縮便益：569/569 億円 走行費用減少便益：26/26 億円 交通事故減少便益：3/3 億円	
	(残事業)	8.3			基準年：平成16年
<b>感度分析の結果</b>					
残事業について感度分析を実施					
交通量変動		B/C = 2.1 (交通量 +10%)		B/C = 1.8 (交通量 -10%)	
事業費変動		B/C = 1.8 (事業費 +10%)		B/C = 2.1 (事業費 -10%)	
事業期間変動		B/C = 1.7 (事業期間 +3年)		B/C = 2.2 (事業期間 -3年)	
<b>事業の効果等</b>					
円滑なモビリティの確保（路線バスの利便性が向上）					
国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間の解消） 他5項目に該当					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
一般国道323号富士バイパスは、嘉瀬川ダムの水源地域対策特別措置法に基づく「水源地域整備計画」に位置づけられており、地元の振興に大きな役割を果たすものと期待されている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
特になし。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
平成17年秋に9.5kmの内4.9kmを供用開始する予定である。残りの区間も順次供用していく。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
平成18年を目途に用地買収をほぼ完了させ工事を促進していく予定である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
トンネル区間においては、歩道幅員の縮小によりコスト縮減を図る予定である。					
<b>対応方針</b>					
<b>対応方針決定の理由</b>					
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
<b>事業概要図</b>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。